謹啓　◯◯の候、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

　さて、このたびは、亡◯◯の葬儀に際しまして、ご多用中のところご参列いただき、かつまた丁重なご香典［ご供物］まで賜りまして、ご芳情のほど心からお礼申し上げます。故人が生前中に賜わりました格別のご懇情とともに深く感謝いたしております。

　おかげをもちまして本日、近親者のみにて満中陰の法要を（滞りなく）（相）営み、忌明けとなりました。

　つきましては、供養のしるしに心ばかりの品を送らせていただきましたので、なにとぞご受納くださいますようお願い申し上げます。

　まずは、略儀ながら書面をもちましてお礼かたがたご挨拶申し上げます。

謹言

　　　令和○○年○○月○○日

◯ ◯ ◯ ◯